



アップサイクル技術でプラスチックの環境問題を解決

株式会社 八木熊 (坂井市)

SDGsに貢献!

- ・建設現場で不要となった三角コーンの再資源化に関する実証試験の実施
- ・サーキュラエコノミー実現のための動静脈連携「iCEP」



大成建設株式会社提供

回収した三角コーン



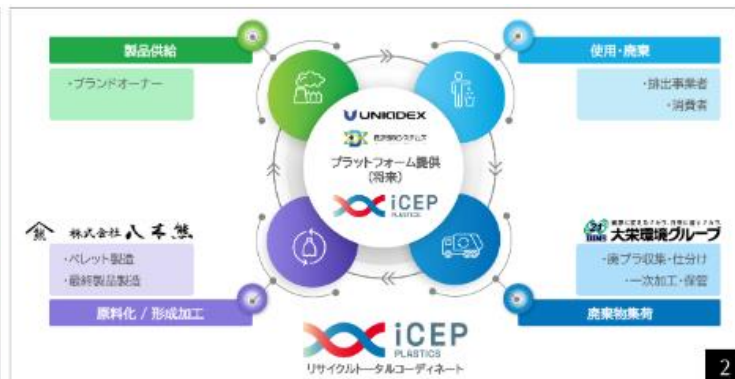
粉碎



100%再生ペレット



再生三角コーンの作成



2



4

1. 建設現場で廃棄されている三角コーンを利用して再び三角コーンを製造
2. 動静脈連携、アライアンス構築でサーキュラエコノミーを実現
3. 100%リサイクル素材で作られたオリジナルガラス強化MB
4. バイオマスプラスチックが配合されたバリケード

取り組みのきっかけ

SDGs、カーボンニュートラル、脱炭素等の「環境配慮」の取組は日本だけでなく、世界的に加速しています。特にプラスチックを製造している八木熊でも今後リサイクルを始めとした環境配慮の取組は必要不可欠だと考えました。リサイクルの取組を推進する為には①カスケードリサイクルからの脱却、②産業廃棄物として処理されている廃プラスチックの有効活用の2点であると考えました。この①②の課題を解決する為にプラスチックの性能を向上させるアップサイクル技術の開発を始めました。

特に注力しているSDGsの取り組み

当社はプラスチックの循環モデル実現に向けた様々な活動を行っております。大成建設株式会社様と連携して行った、建設現場で廃棄されている三角コーンを回収し再び三角コーンに戻す活動もその一つです。適切に回収することにより、今まで産業廃棄物として処理されていた三角コーンを資源として有効活用することができます。これにより、廃棄物の処理量を減らすとともに、二酸化炭素の排出量削減にも貢献することができます。

担当者の思い

西川 将司さん

現在プラスチックの業界では、多数の企業が環境に関する取組を行っていますが、まだまだ産業廃棄物やサーマル・リサイクルに回されているのが現状です。材料作成から成形品提案まで実施できる八木熊が環境マテリアルプランナーとしてお客様の課題解決に貢献していきたいと思っております。



Company Information

株式会社 八木熊

住所 / 福井県坂井市坂井町定旨 1 字柳指48-2
 事業内容 / プラスチック製造業
 創業年 / 1895年
 代表者 / 代表取締役社長 八木信二郎
 従業員 / 123名
<https://www.yagikuma.co.jp/>



会社ホームページ